

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人みちのく福祉会 こども発達支援センターりりい		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 9日		～ 令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 1月 9日		～ 令和 8年 2月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6園	(回答数) 6園
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所での取り組み内容や様子を具体的に伝えるようにしています。また、見学に来ていただくことも進めています。	児童が過ごす時間が一番長いのは保育園であることを加味して“保育園での取り組み”も柔軟に引き継いでいます。	支援のための連携は不可欠であるため、保育園と事業所の特性や特徴を尊重しあい協調して進めていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の訪問時間帯と保育園側の日課時間が合わないことで余裕がない印象がある。	訪問時間の調整、訪問支援員とスタッフの複数訪問の進め方などを再検討する必要がある。	共通した関わり方と考え方・支援方法の具体化と共有化など、実際の保育現場と実状に沿った支援と療育が提供できるよう研修会の参加などスキルアップに取り組んでいきます。
2			
3			